第6講　院政と平氏政権
PART3 平氏政権の確立

Chapter 1　保元・平治の乱

目標
保元の乱が起こったのはなぜだろう？
平治の乱が起こったのはなぜだろう？

1　保元の乱（1156年）

①原因

鳥羽上皇〔法皇〕の死を契機に，**皇室・摂関家の内部対立**が表面化。

②経過

桓武平氏・清和源氏などの武士が両陣営に組織され，戦闘を展開。

③関係図

	天皇方○	VS	上皇方×
皇　室	［1　　　　］**天皇（弟）**		［2　　　　］**上皇（兄）**
摂関家	**藤原忠通**（兄，関白）		**藤原頼長**（弟，左大臣）
平　氏	**平　清盛**（甥） 重盛（甥の子）		平　忠正（叔父）
源　氏	**源　義朝**（長男）		源　為義（父） 為朝（八男）

※天皇方の実質的な采配者は**信西〔藤原通憲〕**。

④結果

崇徳上皇方が敗北，後白河天皇は２年後に上皇として院政を開始。

※崇徳上皇は讃岐国へ配流，平忠正と源為義は斬首。

⑤意義

中央政界の抗争に武力が必要不可欠と判明，武士の中央進出を決定づける。

※京を舞台とした武士による初の合戦で，皇族・貴族たちに衝撃を与えた。
慈円の『愚管抄』では，保元の乱以降「武者ノ世」になったと書かれている。

2 平治の乱（1159年）

①原因

保元の乱の３年後，**後白河上皇の院近臣の対立に**
桓武平氏・清和源氏という武家の二大棟梁の対立が絡み発生。

②経過

平清盛が紀伊国の熊野詣への留守中に，藤原信頼・源義朝が挙兵。
三条殿と内裏を襲い後白河上皇と二条天皇を幽閉，
信西を襲撃して自殺に追い込みいったん政権を握る。
※事件を知った清盛が急ぎ帰京し，源平間で戦闘が展開した。

③関係図

	平氏方○	VS	源氏方×
武　家	〔3　　　　〕		〔4　　　　〕
	重盛（長男）		義平（長男）
			頼朝（三男だが嫡男）
院近臣	**信西〔藤原通憲〕**		**藤原信頼**

④結果

源氏方が敗北し，藤原信頼は斬首。平清盛が政権担当への強力な足掛かりをつかむ。
※源義朝は謀殺，義平は斬首。頼朝は翌年に伊豆国へ配流となった。

⑤意義

中央政界の抗争を武士の実力で解決。武力が政権争いの
決定的要素であることが明白となり，**武士の政治的地位が急速に高まった。**
※連勝した平清盛は昇進を重ね，翌年には武士出身で初の公卿〔上達部〕となる。

平治物語絵巻

まとめ

保元の乱は，鳥羽上皇の死を契機に
皇室・摂関家の内部対立が表面化して起こった。
平治の乱は，後白河上皇の院近臣間と源平二大棟梁間の対立により起こった。

Chapter 2　平氏政権の確立

目標
平氏政権の性質について知ろう。
平清盛が日宋貿易で莫大な利益を得ることができたのはなぜだろう？

1　平清盛の栄達

邸宅の場所から六波羅殿とも呼ばれた〔1　　　　　　〕は，
成人後は親政を行おうとした二条天皇の死後，**後白河上皇**の院政を武力で支え，
法住寺御所の近くに蓮華王院を造営するなどの奉仕をした結果，
1167 年，武士として初の〔2　　　　　　〕に就任。
※長男の重盛をはじめ**一族で高位高官を独占**，
　翌年に出家した後も入道相国と呼ばれ権勢を誇った。

2　平氏政権の背景

平氏政権は，高位高官の独占，外戚政策，知行国・荘園を経済基盤にするなど，
地方武士出身であるが貴族としての性格が強いという二面性を持った。
※摂関政治にも，鎌倉幕府にも似ている。
①畿内・西国の武士の**家人**化に成功
　伊勢平氏は瀬戸内海周辺を中心に西国の国司〔受領〕を歴任してきたことから，
　西国武士団の多くを荘園・公領〔国衙領〕の**地頭**に任命し，
　直接主従関係を結ぶことができた。
　※家人たちを独自に編制し，内裏の警備に動員した。皇族や貴族も
　　荘園・公領支配や寺社の強訴への対応に，平氏の軍事力を期待する面があった。
②〔3　　　　〕**政策**
　娘の**平徳子〔建礼門院〕**を**高倉天皇**の中宮とし，
　男児（のちの〔4　　　　〕**天皇**）が誕生すると清盛は外祖父となった。
③**膨大な経済基盤**
　1179 年以降の全盛期には，全国の約半数の**知行国主**としての収入のほか，
　500 カ所に及ぶ**荘園**や**日宋貿易**の収益が平氏政権を支えた。

3 平氏による日宋貿易

11世紀後半から日本と中国の宋〔北宋〕や朝鮮半島の高麗との間で
商船の往来は活発となっていたが，1127年，宋が北方の女真が建てた
〔5 〕に圧迫され**南宋**となってから，より盛んに貿易が行われた。

①大宰府・瀬戸内海航路の確保

平清盛は，後白河上皇との関係を背景に大宰府を掌握，
九州各地に勢力を広げるとともに，宋船を直接畿内に入港させ，莫大な利益を得た。

A 摂津国〔6 〕の修築→現在の神戸市にあった港

B 安芸国**音戸の瀬戸**の開削

C 安芸国宮島の〔7 〕を一族で崇拝

②貿易品

宋船のもたらした多くの宋銭・書籍・珍宝は，日本の経済・文化に多大な影響を与えた。

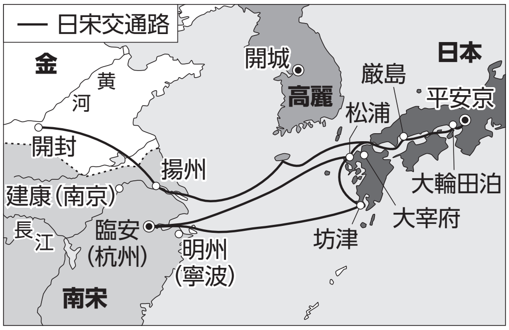
A 輸出品

金・水銀・硫黄・刀剣・漆器・扇・真珠など

B 輸入品

宋銭・陶磁器・『太平御覧』などの書籍・絹織物など

※東南アジア産の香料・薬品なども。



日宋貿易

まとめ
平氏政権は，貴族政権と武家政権の二面性を持った。
平清盛は，大宰府と瀬戸内海航路を確保することで日宋貿易を独占した。

第６講　PART３　確認問題

1 保元の乱で，皇位継承をめぐり後白河天皇と対立した上皇はだれか。

① 崇徳上皇　② 鳥羽上皇
③ 高倉上皇　④ 順徳上皇

2 保元の乱で，兄である関白の藤原忠通と摂関家の継承を争い敗れたのはだれか。

① 藤原信頼　② 藤原通憲
③ 藤原頼長　④ 藤原成親

3 平治の乱で平清盛に敗れ，滅ぼされた源氏の嫡流はだれか。

① 源義朝　② 源為朝
③ 源為義　④ 源義親

4 平治の乱で，平清盛に滅ぼされた院近臣はだれか。

① 藤原信頼　② 藤原通憲
③ 藤原忠通　④ 藤原成親

5 平清盛が武士として初めて就任した官職はどれか。

① 関白　② 摂政
③ 左大臣　④ 太政大臣

6 平清盛は娘の平徳子が生んだ子が即位したことで外祖父となったが，即位した天皇はだれか。

① 近衛天皇　② 安徳天皇
③ 二条天皇　④ 崇徳天皇

7 平清盛が修築した大輪田泊はどこの国にあったか。

① 安芸国　② 播磨国
③ 讃岐国　④ 摂津国

8 平氏が力を入れた日宋貿易において，主な輸入品はどれか。

① 宋銭　② 硫黄
③ 金　④ 刀剣

第６講　PART３　確認問題 解答

1 解答：①　**保元の乱**は鳥羽上皇〔法皇〕の死を契機に起こり，勝利した**後白河天皇**は兄である**崇徳上皇**を讃岐国へ配流した。

2 解答：③　**藤原頼長**は左大臣であった。

3 解答：①　**源義朝**は源頼朝の父。保元の乱では，後白河天皇側に属して勝利した。

4 解答：①　②の**藤原通憲〔信西〕**は，平治の乱の初めに襲撃されて自殺に追い込まれた院近臣。

5 解答：④　**平清盛**は**太政大臣**に就任し，長男の重盛をはじめ一族で高位高官を独占した。

6 解答：②　平清盛の娘・**平徳子〔建礼門院〕**は**高倉天皇**の中宮となり，男児（のちの**安徳天皇**）を生んだ。

7 解答：④　**大輪田泊**は現在の神戸市にあった。平清盛は，瀬戸内海航路を確保することで宋船を直接畿内に入港させ，貿易による莫大な利益を得た。

8 解答：①　②の硫黄，③の金，④の刀剣はいずれも輸出品である。輸入品には**宋銭**のほか，陶磁器，『太平御覧』などの書籍，絹織物などが挙げられる。